

## 巡回型めむろ☆未来ミーティング対応書

( 今後の対応が必要な事項 ・ 次回までに検討が必要な事項 )

トーク開催日	令和5年1月10日（火）
トーク会場	上美生農村環境改善センター
対応が必要な事項	①上美生公園への遊具の設置など公園そのものの在り方の進ちょくと 今後の進め方
担当部署	環境土木課
対応方針	1 即対応する（した） ○2 中長期的に検討する 3 対応できない
対応内容	<p>【質問・意見内容】</p> <p><u>上美生公園の遊具の件で、令和元年に話があったが、進ちょくがわからなかつたことと、どう進めていいのか戸惑っているところ。</u></p> <p><u>遊具については、必要、不必要両方の意見があるので、地区としてまとめていかないといけないかなと思う。</u></p> <p><u>「上美生をデザインする」というワークショップを行ったときに、公園や小中学校、上美生のこの農村環境改善センターなど、課題をみんなで話そうというときに、こんな公園になったらいいなという話もあったと思うけど、そのあと、コロナで議論が止まったかななど。</u></p> <p><u>閉園した保育所の遊具をもってきてつけるという話だったので、それがいいのかということや、管理上の課題、お年寄りも使える公園じゃないといけないよねという課題もあった。</u></p> <p><u>(その他の意見)</u></p> <p><u>あまり細かい地域に縛られるというよりは、もっと新嵐山を使ったり、大きな公園使ったりという観点で、大人も子どもも一緒に遊べるようなところを作っていくのがいいのではないか</u></p> <p>【対応内容】</p> <p>「上美生公園」を含む将来の公園整備に関する考え方は次のとおりです。</p> <p>町内には大小約50か所の公園・緑地がありますが、各地域に居住する人口動態も大きく変化し、公園の利用形態も変化している状況です。このことから、公園の利用形態も考慮しながら町内の公園の活用方法を検討していく必要があるため、令和5年度から「公園等再整備構想（仮）」の策定に向け、準備を進めることです。</p> <p>この構想では、各公園の利用形態を把握し、町民が使いやすい公園とするため、例えば、子ども向けの遊び場のほかに高齢者向けの健康づくりの場を設けるなど、公園の機能を再編、集約化し、維持管理の効率化を目指すものです。</p> <p>上美生公園の将来のあり方についても、この構想策定時に上美生地</p>

区のご意見をお聴きすることはもちろんですが、地区協議会主催の「上美生のデザインを考える場」を開催する際には、地域担当職員や公園担当職員を出席させていただきたいと考えております。